

|                                           |                                                                                                                                                         |         |              |
|-------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|--------------|
| ポスター発表<br>8                               |                                                                                                                                                         |         |              |
| 主題                                        | 認知症ケアの充実による職員のモチベーションの変化と離職率低下の関連性                                                                                                                      |         |              |
| 副題                                        | 認定資格取得による自尊感情を高める効果                                                                                                                                     |         |              |
| キーワード1                                    | 認知症ケア                                                                                                                                                   | キーワード2  | モチベーション      |
| 研究期間                                      | 15 ヶ月                                                                                                                                                   |         |              |
| 法人名                                       | 社会福祉法人 一誠会                                                                                                                                              |         |              |
| 事業所名                                      | 偕楽園ホーム                                                                                                                                                  |         |              |
| 発表者：                                      | 秋山幸子                                                                                                                                                    | アドバイザー： | 鷹野賢一         |
| 共同研究者：山口政志（偕楽園ホーム）森田明美 河西めぐみ（グループホーム初音の杜） |                                                                                                                                                         |         |              |
| 電 話                                       | 042-691-2830                                                                                                                                            | F A X   | 042-691-8288 |
| 今回発表の<br>事業所や<br>サービスの<br>紹介              | 四季の彩が豊かな八王子市の西北部に位置する昭和 55 年開設の従来型 100 床の介護老人福祉施設です。平成 26 年 11 月には品質国際規格 ISO9001 の認証を取得し更なる介護サービスの質の向上に努めています。平成 23 年 4 月よりデイサービスセンター、グループホーム初音の杜を開設した。 |         |              |

《1. 研究前の状況と課題》

認知症ケアを充実させた施設を目指し、取り組みを行ってきたが、認知症予防や改善に向けた取り組みという点においては、エビデンスに乏しかった。

認知症ケアは、十二分に事業の特性を示すものになりうるものであるが、その標準化、戦略化が十分とは言えない状況にあった。

多くの認知症の方を受け入れている施設にも関わらず、具体的な方法を示すマニュアルもなく、時代の動向や特徴などをとらえた働き方ができていなかった。

また、介護職の離職機会も増していたため、職員が意欲を持ち、就業意欲の向上につなげて行く対策も必要であった。

《2. 研究の目的ならびに仮説》

1 認知症ケアによいとされるものを取り入れることで、行動・心理症状が緩和。  
→ご利用者が精神的に安定することで、職員の負担も軽減できる。

2 楽しい気分やリラックスした状態になると、自然と笑顔になる。  
→笑顔には、ストレス解消・自律神経のバランスを整える・免疫力向上・脳の血流増加等の効果がある。また、笑顔は周りに連鎖するため、ご利用者が笑顔でいることで職員もポジティブな方向へ行きやすいという効果を期待。

3 各種セラピーを導入することで、単調な毎日に変化をもたらす。  
→変化によって、新しい物の見方ができる。

4 専門性に資格を付与することで、職業人としての自尊感情を高める効果を期待。  
→職員資質の向上。  
以上の事から認知症を正しく理解し、高い専門性や手法を身につけることで、職員のモチベーションが変化し、離職率を低下させることに繋がっていくのかを検証することとした。

### 《3. 具体的な取り組みの内容》

このことを明らかにする為、平成26年4月に設置した認知症ケア向上委員会で、以下の取り組みを行なった。

- 1 認知症ケアマニュアルを作成し、ケアに関わる職員を対象に職場内研修会を平成27年2月4日・11日に開催。開催前に職員へ認知症理解に対してのチェックリストを実施。調査期間平成27年1月4日～1月15日。調査方法はチェック用紙に記入、記名とした。認知症ケア向上委員会が回収。研修開催後、3月23日～3月31日の期間で同様のチェックリストを実施した。
- 2 各種セラピーの導入、資格取得を勧めることで職員の意識に変化を及ぼしたかを確認するためのアンケートを実施。調査期間は平成27年6月20日～25日。調査方法は質問用紙に記入、記名とした。認知症ケア向上委員会が回収。
- 3 職員の離職率の変化を確認する。

### 《4. 取り組みの結果》

- 1 認知症理解に対してのチェックリストについて職場内研修会参加者24名中15名の理解度の向上が見られた。
- 2 職員の意識調査の集計結果より、各種セラピーの実施により、「ご利用者の表情や言動に変化がみられた。」「資格取得等による職員の認識の変化がみられた。」という内容の回答があった。
- 3 特養の離職率が平成25年度は31.08%であったのが平成26年度14.86%で半分以下となった。

### 《5. まとめ、結論》

認知症ケア向上委員会を設置し、取り組んだ結果から以下のように結論づけた。

まず、マニュアル作成と研修会の実施したことで、職員の認知症ケアについての理解・認識に変化が見られた。

次に各種セラピーを導入したことで成果としてご利用者の中には、動物のお世話や餌やりを通して役割が生まれ、不安の軽減につながった方がいる。

意識調査の結果から、職員がセラピーを実施したことで、ご利用者の変化を感じることに繋がった。

資格取得については、取得資格は一部であるが、今後予定している受講も含め、取得に向けて学習することで認知症予防への理解と必要性が高まり、自尊感情の向上につながるかたちとなった。

このことについても、職員の意識にも影響が出た事といえる。

離職率は特養において、半減する結果となり、認知症ケアを充実し資格取得をしていくことで職員のモチベーションの向上につながり関連性があったものと言える。

### 《6. 倫理的配慮に関する事項》

本研究発表を行うにあたり、写真を掲載することについてはご本人（ご家族）に口頭にて確認をし、本研究発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととする。

### 《7. 参考文献》

- ・海外社会保障研究  
特集認知症対策の国際比較  
No.190（2015 Spring）  
編集：国立社会保障・人口問題研究所  
出版社：アーバン・コネクションズ
- ・認知症ケア指導管理士試験（初級）  
公式テキスト、  
発行所：一般社団法人総合ケア推進協議会 2015年発行

### 《8. 提案と発信》

認知症は現段階では完治する病気ではないが、様々なセラピーにより認知症のご利用者が生活しやすい環境となり、資格取得した職員が、自信や根拠をもちながらケアにあたることの効果を、ご利用者やご家族のみならず地域住民の方々にも発信していきたい。